

【令和3年5月期 小規模企業景気動向調査報告書】

本会では、県下商工会地区内小規模企業の景気を把握するため、商工会の経営指導員に協力依頼し、小規模企業景気動向調査を毎月実施しています。

このたび令和3年5月期の調査結果がまとまりましたので報告します。

1 調査概要

- (1) 調査時点 令和3年5月31日
- (2) 調査対象 県下35商工会（うち34商工会より回答）【回収率97.1%】
- (3) 調査対象業種 製造業（食料品・繊維工業・機械金属）、建設業、小売業（衣料品・食料品・耐久消費財）、サービス業（旅館・洗濯・理美容）の10業種
- (4) 調査方法 商工会の経営指導員に対するアンケート方式
- (5) 集計方法 質問項目（業況、売上、仕入単価、採算、資金繰り）の「好転・増加・上昇」とする数値からそれぞれ「悪化・減少・低下」とする数値を引いた値

2 概要（トピックス）

【全体の業況DIは4期連続で好転したが、今後は建設業におけるウッドショックの影響が懸念される】

産業全体の業況DI（景気動向指数・前年同月比）は-21.1（前月-22.3、前年同月-61.0）で、前月比1.2pt好転した。建設業はウッドショックによる木材価格の高騰等、自動車関連業は半導体不足の影響等により業況が悪化しているが、その他の業種において食料品製造業をはじめ旅館業、衣料品小売業等が季節需要も含み好転したため、全体の業況はやや好転した。

【製造業】

業況は-9.8（前月-12.7、前年同月-54.9）と前月に比べ2.9pt好転した。食料品製造業は、コロナ禍で加工食品の需要が増加し業況の回復が見られる。自動車関連業は、半導体不足の影響で受注が減少している。

【建設業】

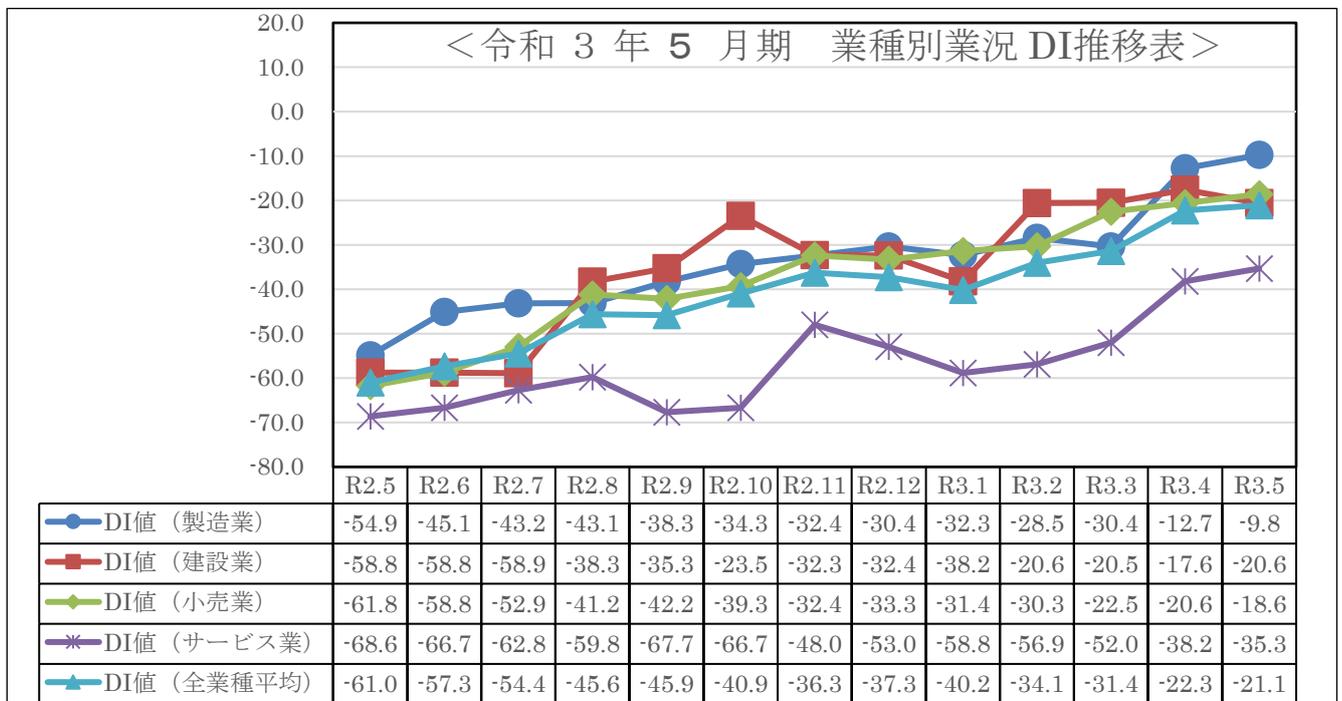
業況は-20.6（前月-17.6、前年同月-58.8）と前月に比べ-3.0pt悪化した。ウッドショックの影響を受け木材価格が高騰、供給も滞っており、工期の遅れ等が生じている。今後は影響の長期化も懸念されている。

【小売業】

業況は-18.6（前月-20.6、前年同月-61.8）と前月に比べ2.0pt好転した。食料品小売業では仕入価格等の高騰により業況が悪化しているが、衣料品・耐久消費財小売業は季節需要もあり好転した。

【サービス業】

業況は-35.3（前月-38.2、前年同月-68.6）と前月に比べ2.9pt好転した。宿泊関連業において、GW期間中は観光客が多く見られたため売上が増加したが、その後は客足戻らず依然として厳しい状況が続いている。



＜経営指導員コメント抜粋＞

【製造業】(食料品製造業・繊維工業・機械金属業)

- ・緊急事態宣言に伴う外出自粛の影響により家庭内で過ごす時間が増え、冷凍食品の売上が伸びている。(伊豆)
- ・原材料の仕入単価は上昇しているが、経費削減に努め横ばい状態である。(富士駿東)
- ・昨年同時期と比較すると好転したが、コロナ以前と比較すると経営状況の悪化が継続している事業者が多い。(中部)
- ・食料品製造業では、中食需要増によって回復の兆しがある。(中東遠)
- ・自動車関連業では、半導体不足により市内自動車メーカーが生産調整（一部休業）しており、受注がやや減少している。(西遠)

【建設業】

- ・ウッドショックにより木材が高騰し、仕入れが確保できないため、新築の受注が困難になっている。(伊豆)
- ・木材の供給が滞り、仕入れ価格の高騰と木造建築施工が遅延している。(富士駿東)
- ・木材の仕入れに苦慮しており、新築工事を請け負っても材料が揃わず工期の遅れが生じる可能性がある。(中部)
- ・リフォームの需要はある。人手不足の問題は依然として厳しい状況にある。(中東遠)
- ・木材の仕入れが困難かつ価格が高騰している。見積を出すことも難しい状況である。(西遠)

【小売業】(衣料品小売業・食料品小売業・耐久消費財小売業)

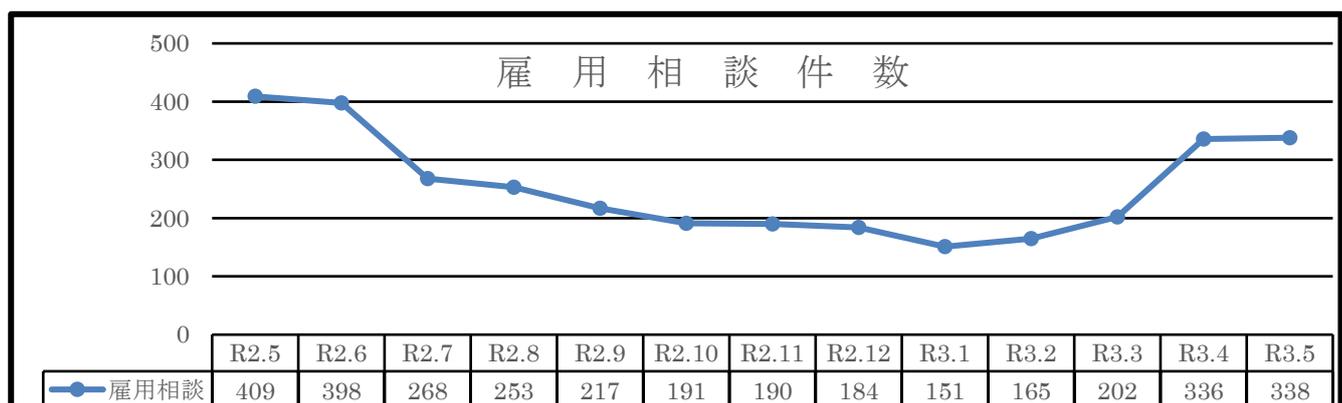
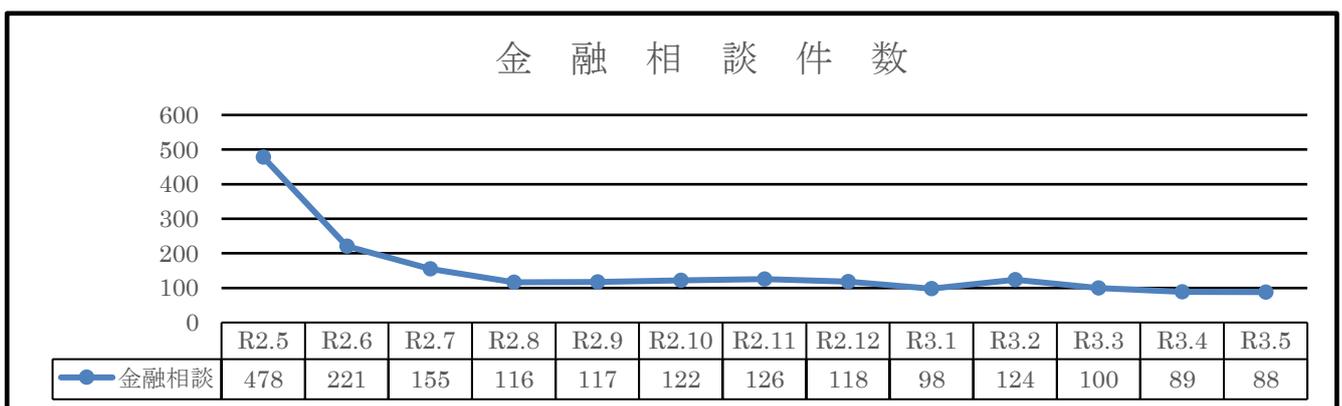
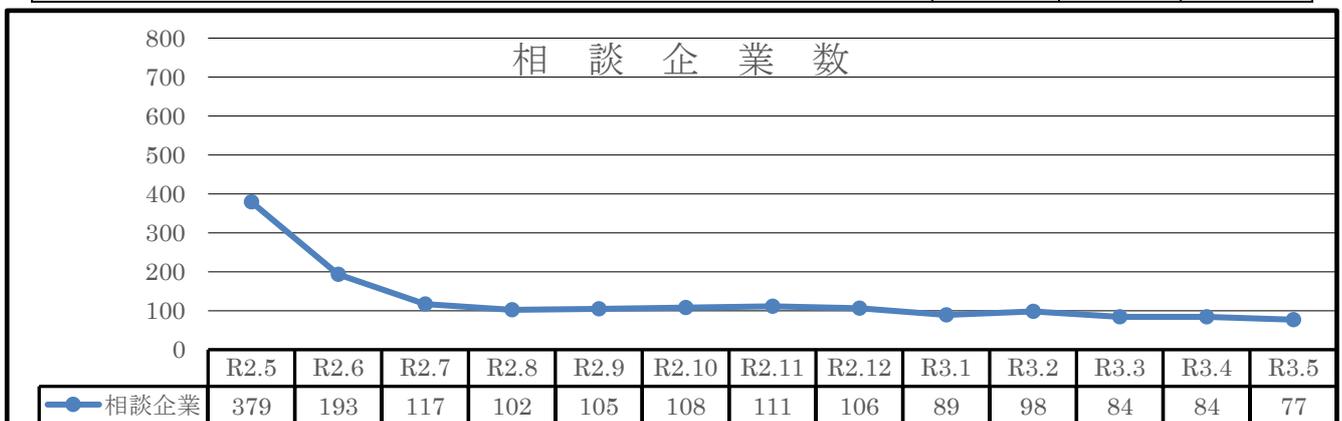
- ・食料品小売業では、原材料以外にも包装容器等の資材価格が高騰してきており、利益を圧迫している。(伊豆)
- ・食料品や耐久消費財は安定傾向にあり、衣料品は夏物が動き始めている。(富士駿東)
- ・GW期間中にやや売上が伸びたが、季節需要であり業績回復は見込めない。(中部)
- ・耐久消費財ではエアコンや空気清浄機等、家電の買換え需要がある。(中東遠)
- ・酒類小売業では、市の休業要請と感染拡大注意報により、飲食店からの発注が大幅に減少しており、それに伴い売上也減少している。(西遠)

【サービス業】(旅館業・洗濯業・理美容業)

- ・宿泊業では、GW期間中においては好調で観光客も多く見られた。(伊豆)
- ・首都圏からの観光客を対象に事業を行う宿泊施設や飲食店は厳しい状況である。(富士駿東)
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、宿泊客は依然として減少傾向にある。(中部)
- ・洗濯業では、企業の在宅勤務導入の影響を受けている。(中東遠)
- ・理美容業では、新型コロナウイルス感染症拡大前の売上に戻りつつある。(西遠)

金融・雇用相談実績月次報告(令和3年5月期)

内容別内訳 (※1件の相談で複数の対応をした場合はそれぞれにカウント)	今月	前月	前月比
【相談企業数】	77	84	-7
【金融相談件数】	88	89	-1
新規融資(借換えを除く)	53	41	12
既存債務の借換え	29	33	-4
借入れ条件変更	0	1	-1
消費者金融・商工ローン関連	0	0	0
貸し渋り・貸し剥がし	0	0	0
その他	6	14	-8
【雇用相談件数】	338	336	2



【金融相談】

金融相談件数は、88件と前月(89件)に比べ1件減少した。前回に続き全体の相談件数はやや減少傾向にあるが、新規事業等に伴う前向きな設備資金の融資相談が増加している。

<経営指導員コメント>

- ・前向きな設備投資における融資相談が出てきた。(伊豆)
- ・融資相談は減少傾向であるが、飲食店を中心に資金繰りが厳しい。(富士駿東)
- ・民間金融機関の無利子融資が終了し、コロナマル経についての相談が増加している。(中部)
- ・新規事業に伴う設備資金などの融資相談があった。(中東遠)
- ・既往債務の条件変更を希望する相談が複数あった。(西遠)

【雇用相談】

雇用相談件数は、338件と前月(336件)に比べ2件増加した。労働保険の年度更新に伴い、雇用保険資格取得・喪失手続きが相談の多くを占めている。また雇用調整助成金の特例措置により期間が6月末まで延長され、窓口相談や専門家派遣事業等により対応をしている状況である。

<経営指導員コメント>

- ・労働保険の年度更新に伴い、雇用保険資格取得・喪失手続きがあった。(伊豆)
- ・労働保険の年度更新の時期であり、労働保険に関する相談・指導が多い。(富士駿東)
- ・雇用相談の多くは雇用保険の取得・喪失手続きである。(中部)
- ・雇用調整助成金、キャリアアップ助成金についての相談が多い。(中東遠)
- ・元請企業の休業に伴う雇用調整助成金の相談があった。(西遠)

【その他商工会管内に関するコメント】

- ・5/23(日)に河津エールプレミアム商品券(50%プレミアム、発行総額6,000万円)を販売し、販売2日目の午前中で完売した。今後本商品券における経済効果が期待される。(河津町)
- ・5/3(月・祝)に富士山金太郎春まつりを神事のみ開催した。(小山町)
- ・5/22(土)~23(日)に開催された富士スーパーテック24時間レースに商工会のブースを設け、優良推奨品(菓子・物産)の販売・PRを行った。(小山町)
- ・5/16(日)にゆうすい朝市を開催した。(清水町)
- ・5/23(日)に三島市立公園 楽寿園を会場にゆうすいフェスタを開催した。天候にも恵まれ2,000人の来場者があり、出店した12店舗の各店が用意した商品はほぼ完売した。(清水町)